

# 火の用心通信 (2012年4月) No.9

横浜市金沢消防署

## 救命講習のすすめ

応急手当、特に心肺蘇生法などの救命処置は、傷病者の生命を救うためのものです。

今まで、医療に関係のなかった方々には、なじみにくいかもかもしれませんが、大切な家族、友人そして隣人が突然倒れたとき、その命を救うためには居合わせた人の救命処置がとても重要です。

救命処置は、国際的なガイドラインの改訂により、市民が行う応急処置の手順が一部変更されました。

横浜市消防局では、平成24年4月1日から新しい指針に基づく救急処置を普及していくため、救命処置を学べる救命講習を行っています。

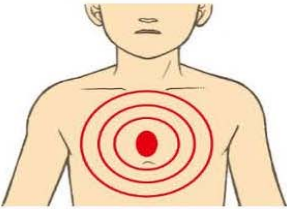
救急処置を学んだことがない方はもちろん、受講したことがある方も、この機会に新しい救命処置を学んでください。

### 救命処置の一部変更点

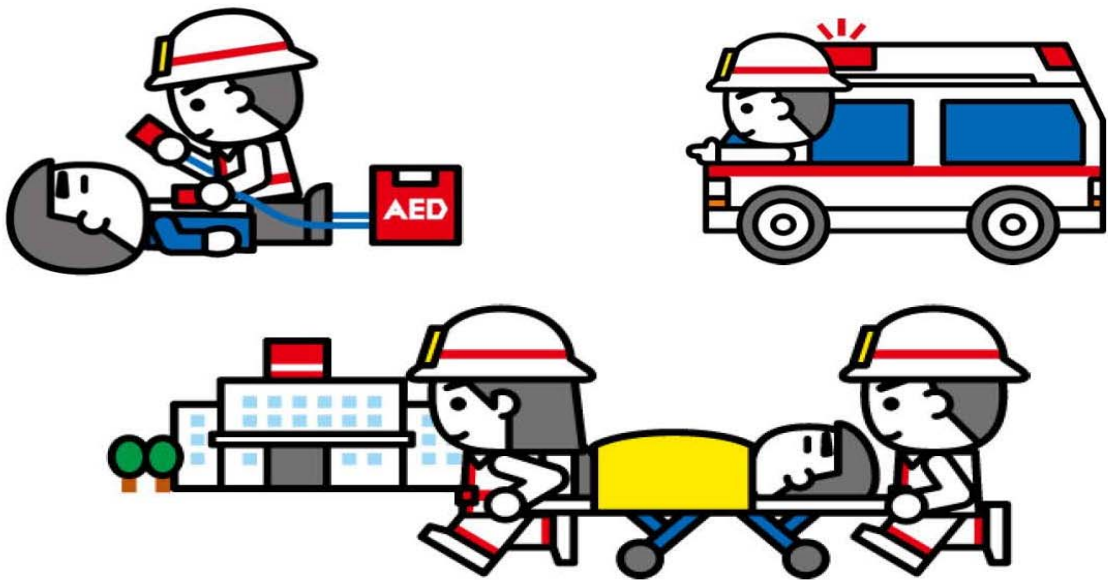
	変更前	変更後
呼吸の確認	<p>反応がなければ</p> <p>①近くの人に 119 番通報と AED の手配を依頼する。</p> <p>②気道確保をしてから呼吸の確認 (見て、聞いて、感じて)</p> 	<p>反応がなければ</p> <p>①近くの人に 119 番通報と AED の手配を依頼する。</p> <p>②気道確保をせずに呼吸の確認 (胸とお腹の動きをみる)</p> 
心肺蘇生	<p>③普段どおりの呼吸がなければ人工呼吸を 2 回 (省略可能)</p> 	<p>③普段どおりの呼吸がなければ胸骨圧迫 30 回</p> 
	<p>④人工呼吸をしたら胸骨圧迫 (その後、胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回を繰り返し行う)</p> 	<p>④胸骨圧迫が終わったら、気道確保と人工呼吸 2 回 (省略可能) (その後は、胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回を繰り返し行う)</p> 

A E D	⑤AED の小児用電極パッドを貼る対象は、 1 歳以上 8 歳未満 乳児に対しては AED を使用しない。	⑤AED の小児用電極パッドを貼る対象は、  おおよそ、6 歳くらいまで 乳児に対しても AED を使用できる 小児用がなければ成人用を使う
-------------	---	--

胸骨圧迫について

圧迫位置	乳頭と乳頭の真ん中	胸の真ん中（目安） 
深さ	4 ～ 5 c m	少なくとも 5 cm
圧迫回数	100 回/分	少なくとも 100 回/分

横浜市消防局



（横浜市消防局ホームページより抜粋）

今回の改正内容については、従来までの救命処置の方法を否定するものではなく、より良い方法を推奨しているものです。

# 火の用心通信 (2012年5月) No.10

横浜市金沢消防署

## 救命入門コースを新設します!!

横浜市消防局では、平成24年4月から「救命入門コース」新設しました。  
金沢消防署においては、平成24年6月から同コースを実施していきます。



「救命入門コース」とは、胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの使い方を修得することを目標とした90分のコースです。

私たちは、いつ、どこで、けがや病気におそわれるかわかりません。ついさっきまで元気になっていたのに、突然、心臓や呼吸が止まってしまった……。こんな人の命を救うためには、その場に居合わせた人の胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDがとても重要です!

図1は、救命の可能性と時間経過を示しています。  
119番通報し救急車を要請しても、救急隊の到着時間は、全国平均で約8分かかります。

心臓と呼吸が4分間停止すると、命が助かる可能性は胸骨圧迫(心臓マッサージ)やAEDを実施した場合が約40%であるのに対し、何もしなかった場合は約20%と半減しています。

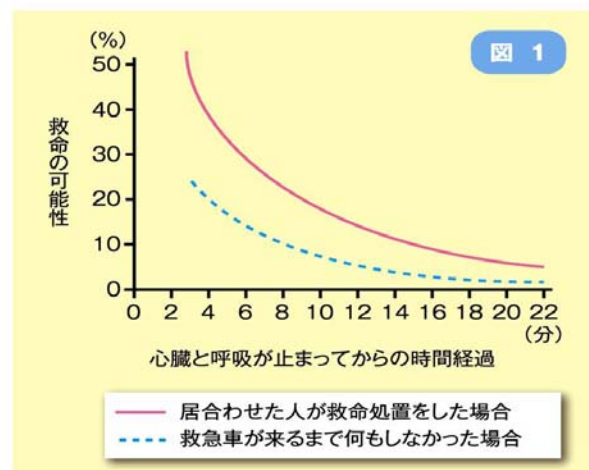


図1 救命の可能性と時間経過  
(改訂4版 救急蘇生法の指針2010より引用)

その場に居合わせた人の  
勇気ある行動が救命の可  
能性を高めます!!



## 【救命入門コース概要】

カリキュラム	講習時間	受講対象者	受講者の実費負担	修了証等の交付	実施主体
・胸骨圧迫要領 ・AED取扱い要領	90分	小学校中高学年以上 (概ね10歳以上)	なし	参加証交付	金沢消防署

「救命入門コース」は、小学校中高学年以上が受講対象で、講習時間は90分です。“救命講習を受講したいけど、長時間の参加が難しい。”といった場合でも参加しやすくなっており、普通救命講習へつなげるための講習として位置づけ、参加した人には「参加証」を発行します。  
金沢消防署では、小中学校や町内会などの団体を対象として実施します。

講習のお申込み、相談は金沢消防署予防課予防係までご連絡ください。  
TEL/FAX 045(781)0119



点検していますか？

# 住宅用火災警報器

## ■作動点検をしましょう!!

取扱説明書を御確認の上、点検や手入れを行ってください。

・次の場合には作動テストを行ってください。

※「引きひも」又は「警報停止(テスト)ボタン」で行います。

- 1 初めて取り付けたとき
- 2 清掃等の手入れを行ったとき
- 3 電池交換を行ったとき
- 4 取り付け場所を変更したとき
- 5 故障・電池切れが疑われるとき
- 6 3日以上、留守にしたとき



※ 異常がある場合は、お買い上げの販売店またはメーカーのお客様相談室等に相談してください。

※ 作業点検時に脚立・イスなどを使用するときは、転落に注意して安全に行ってください。

## ■住宅用火災警報器の奏功事例

住宅用火災警報器の設置により効果があった事例が多く報告されています。

てんぷら鍋を温めようと火をつけ、その場を離れたところ、しばらくして住宅用火災警報器の警報音に気付きました。台所を見ると、鍋から煙と炎が立ち上がっていたので、すぐにガス栓を閉め、消火できました。



布団の上でタバコを吸っているうちに眠ってしまい、住宅用火災警報器の警報音で目を覚ましました。マットレスから煙が出ていたので、隣家の人に火災を知らせ、119番通報を行いました。知らせを受けた人が鍋に水をくみ初期消火できました。



## 燻煙式の殺虫剤による発報に注意しましょう!!

●家庭で害虫駆除をする季節となり、燻煙式の殺虫剤の使用が多くなります。煙感知式の住宅用火災警報器は、この煙に反応して、警報ブザーが鳴る可能性がありますので注意してください。

●予防方法は、あらかじめ住宅用火災警報器に煙が入らないように、ビニール袋、ラップなどで覆います。また、害虫駆除後は、必ず覆いを取り、元に戻しておいてください。

●害虫駆除をするときは、ビル管理人やご近所にも知らせるほか、玄関先のドアに【害虫駆除実施中〇〇時から】などの張り紙をしておいてください。

# 火の用心通信 (2012年6月) No.11

横浜市金沢消防署

## 熱中症に注意しましょう!!

例年7月～8月は熱中症が疑われる症状で救急搬送される人が多くなります。平成23年は、6月の気温が高かったことから、6月に熱中症疑いで救急搬送された人は92名にのぼりました。

熱中症疑いで救急搬送されるケースは、気温が突然上昇した時に多くなっています。

熱中症は予防が大切です。予防対策を万全にして、元気に夏を過ごしましょう。



## 熱中症とは？

室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分（ナトリウム）などのバランスが崩れ、体温の調節機能がなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどいときにはけいれんや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、熱中症になる場合があります。

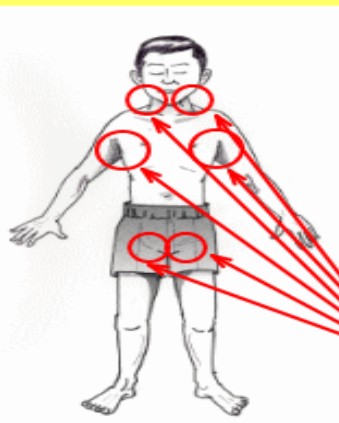


## 熱中症にならないための予防対策

- 室温をこまめにチェックし、エアコンや扇風機等を活用しましょう！
- のどが渇かなくても水分補給！
- 調子が悪いと感じたら、家族や近くの人にそばにいてもらいましょう！

## 熱中症になったら？

●意識障害（意識がない、もうろうとしている）がある場合は**すぐに救急車を要請**しましょう。



**体を冷やし熱を下げる**ことが急務です。  
冷却は、首の横やわきの下、足の付け根など、**太い血管のある部分**を氷や濡れたタオルをあてて冷やします。

※ここを冷やします。

# 身近な電気火災を防ごう!!

## 【コンセントやプラグからの出火に注意しましょう】

・コンセントやプラグは、古いものや壊れたものを使用すると短絡（ショート）したり過熱したりする場合があります。また、水分やほこりなどが付着してトラッキング現象（※）が起きて、火災が発生する場合があります。コンセントやプラグの取扱いには十分注意しましょう。

### ※トラッキング現象とは

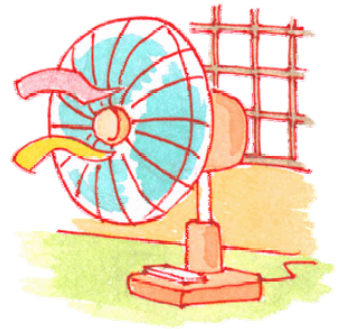
コンセントやプラグの隙間に水分やほこりなどがあると、その表面で小規模な火花放電が発生し、新たな電気の通路（トラック）ができます。その部分では樹脂部が徐々に炭化して電気が流れ出し発火することがあります。これがトラッキング現象です。

#### 〈防ぐためのポイント〉

- 1 コンセントやプラグにほこりがたまらないようにきれいに保つようにしましょう。
- 2 プラグは丁寧に扱きましょう。
- 3 傷みや緩みがあるプラグは使わないようにしましょう。
- 4 プラグはしっかり差し込みましょう。
- 5 日常使用していない器具は電源を切っておくよう心掛けましょう。

## 【扇風機による火災事故に注意しましょう】

・今年も節電対策として、扇風機の使用が増えることが予想されます。経年劣化が原因で火災等の事故が発生する場合がありますので、古い扇風機を使用するときは、十分に注意しましょう。

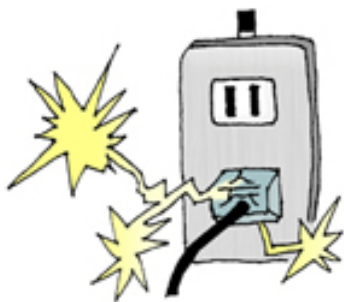


#### 〈防ぐためのポイント〉

- 1 長く使っていなかった扇風機は、点検をしてから使用しましょう。
- 2 就寝時や人のいない所では、電源を切り使用しないようにしましょう。

## 【地震等で避難する時の対応について】

・地震の直後に停電し、通電が再開されたことで機器が作動し、電気器具から出火した事例も過去に発生しています。



#### 〈防ぐためのポイント〉

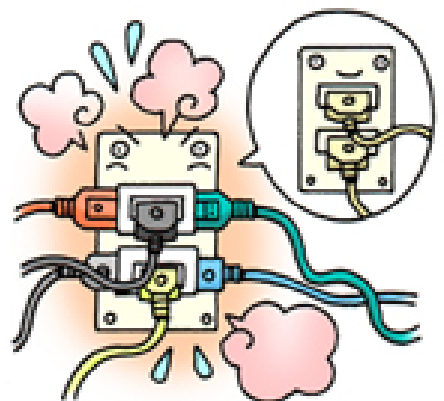
- 1 避難する時には電気ブレーカーを切り、コンセントを抜くようにしましょう。
- 2 帰宅後は電気器具の異常がないか確認しましょう。

## 【たこ足配線について】

・電気コードは使用できる電気の量が定められており、多くの電気機器をつないで使用した場合に許容量を超えてしまうと熱を持ち、それが原因で火災が発生することがあります。

#### 〈防ぐためのポイント〉

- 1 たこ足配線をしないようにしましょう。
- 2 テーブルタップを使用する場合は、電気容量を守るようにしましょう。（テーブルタップ等には許容電流が表示されています）





# 火の用心通信 (2012年7月) No.12

横浜市金沢消防署

## 花火遊びはルールとマナーを守りましょう!!



今年も夏が到来し、花火をする季節になってきました。花火は楽しいものですが、火災ややけどには十分に注意しましょう。また、注意書や使用法をよく読んで、迷惑にならないようルールとマナーを守って遊びましょう！

### 花火をするときには、こんなことに注意しましょう！

- 花火遊びは、人に迷惑にならない場所と時間を選びましょう。
- 花火をするときは、消火用の水バケツを用意しましょう。
- 終わった花火はバケツの水につけ、残り火を完全に消火し、燃えかすにも水をかけましょう。
- 花火を人や家にむけたりせず、燃えやすい物のある場所で遊ばないようにしましょう。
- 風の強いときは、花火遊びはやめましょう。
- 衣服に火花がつかないように注意しましょう。
- 花火をほぐして遊んだり、打ち上げ花火などをしたあとに火が消えていても、筒の中をのぞいたりするのはやめましょう。



### 古い花火などの処分方法

- ①古い花火や点火しない花火は、水バケツに1時間ほど浸けて処分してください。
- ②花火の火薬成分は水に溶け出し、火薬としての働きがなくなります。
- ③水バケツに沈殿した成分は、念のため土に埋めてください。水に浸けた花火はごみとして捨ててください。

※玩具用花火にはSFマーク（安全検査マーク）が表示されています。



# ガス機器からの出火に注意

## 《ガス器具の正しい取扱い》

【1】

目を離した際に、鍋等が加熱されて発火する可能性があります。

火を使っているときはその場を離れず、離れる場合は必ず火を消しましょう。



【2】

グリル等が汚れて油が溜まっていると、加熱されることで発火する場合があります。

定期的な清掃を心がけて、コンロはきれいに使いましょう。

【3】

3口コンロで調理中、奥の鍋を取ろうとして、手前のコンロの火が袖口に燃え移った事例があります。

袖口などが、コンロの火で燃えないように注意しましょう。



【4】

ガスコンロやガストーブなどの接続部分の劣化や、適切な接続具を使用していない場合、ガス漏れを起こすことがあります。

ガス器具は正しく取り付け、接続具は定期的に交換しましょう。

ガス漏れが疑われるときはスイッチの操作や火気の使用は止めましょう。また、窓を開けて換気をしてガスの元栓を閉めましょう。

【5】

コンロの回りには燃えやすいものを置かないようにしましょう。



## 《カセットコンロの正しい取扱い》

夏になり、レジャーを楽しむ本格的な行楽シーズンを迎えるにあたり、バーベキュー等でカセットコンロを使用する機会も増えてきます。誤った使用方法をすると、爆発や火災などの原因になります。安全に使用するために次のことを守りましょう。

【1】 使用する前に「取扱説明書」をよく読み、正しく使用しましょう。

【2】 ボンベは正しい向きで、カセットコンロに合ったものを使用しましょう。

【3】 大きな鉄板などを使用したり、カセットコンロをつなげて使用することはボンベの爆発や火災の危険があるので止めましょう。

【4】 カセットコンロのボンベは加熱されると爆発することがあります。高温にならないように注意して使用しましょう。





# 火の用心通信 (2012年9月) No.13

## 救急車を上手に使いましょう!!

～救急車必要なのはどんなとき～

救急車は、けがや病気などで、**緊急に医療機関へ搬送する**ものです。

でも、最近、歯痛や通院のための要請などタクシー代わりと思われる救急要請もあります。これは、事故による大ケガや、心筋梗塞など重症の人への対応の遅れにつながってしまいます。

**このままでは、救える命も救えなくなるかもしれません。**

真に救急車を必要としている人のために、救急車の適正利用について、市民の皆様の御協力をお願いします。

なお、事故の状況や症状からみて緊急だと感じたら、迷わずすぐに**119番通報**してください。



### ●横浜市救急医療情報センター御案内

夜間や・休日のケガや急病時、24時間・年中無休で、市内の受診可能な医療機関を御案内しています。

※受診の際は、各病院に診察状況を確認してからお出かけください。

※お問い合わせの時間帯によっては、混雑のためつながりにくい場合があります。

電話: #7499 、045(227)7499 、045(201)1199

FAX: 045-212-3808



### ●民間の患者搬送車

救急車(119番)を利用するほどでもないが、病院・医院に患者さんを連れて行きたいときや退院・転院などをはじめ、歩行が困難な方が車いす等で移動するときなどは、民間の患者搬送車が利用できます。

※横浜市患者等搬送事業認定業者一覧は、横浜市消防局ホームページより、確認ください。

※詳しいサービス内容や費用等は、直接、各事業所へ問い合わせ願います。





## 《平成24年度》



# 防火管理講習等の受付が変わりました。

毎年、年度初めに全ての講習が定員に達してしまう状況が発生しているため、平成24年度から講習回数を増やし、受講申請開始日を年2回に分割しました。

**11月から3月までに実施する講習**  
**10月1日(月)午前8時45分から受付開始**

※すでに4月から10月までに実施する講習の受付は終了しています。  
※全ての講習に適用されます。

### ●受講対象者

**横浜市内の**建物等で、防火管理者等として選任される予定の方

### ●受講申請手続

- 1 申請場所は、市内の各消防署の予防課予防係です。
- 2 受講申請書は、消防署にありますので、ホームページ・受付等で受講可能な日程を御確認のうえ、必要事項を記入し提出してください。
- 3 受講申請受付開始時間は、平日8時45分から17時00分までです。
- 4 受講申請の締切りは、各回講習日の5日前又は受講定員に達した時点までです。

※「受講申請書」は、Word形式でダウンロードすることもできます。

### ●講習科目の一部免除

甲種防火管理新規講習、防災管理新規講習、甲種防火管理新規講習及び防災管理新規講習を併せて実施する講習、自衛消防業務新規講習において、消防法令等で定められた講習の既習者は、講習科目を一部免除します。

※講習科目の一部免除を申請する場合には、該当する資格を証明する免状、修了証が必要となりますので、必ず受講申請時に持参ください。

※なお、講習科目は免除されても、効果測定は免除されません。

# 火の用心通信 (2012年10月) No.14

## 暖房器具の取扱いに注意

これから寒い時期を迎えるにあたり、暖房器具を使う機会が多くなります。火災を発生させないよう、暖房器具の取扱いや管理には十分注意しましょう。

### 《暖房器具からの火災を防ぐために》

●その年の使い始める前には、清掃を行い、安全点検を行いましょう！

●石油ストーブなどを使う場合には、間違ってガソリンなどの燃料を入れないように注意しましょう。燃料を間違って入れると、異常燃焼を起こして火災となる危険性があります。



### 《ストーブはここに注意！》

●定期的に清掃や点検を行いましょう！

フィルターなどに埃などが溜まっていると、不完全燃焼を起こす可能性があります。

また、石油ストーブを使っているときは、換気を行いながら使用しましょう。



●近くで洗濯物を乾かすのは止めましょう！

洗濯物が接触したり、干していた洗濯物が落下して石油ストーブの炎や電気ストーブのヒーターに接触したりすると、火災となる恐れがあります。



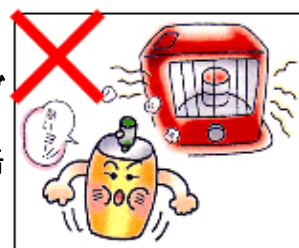
●寝るときは、スイッチを切りましょう！

スイッチをつけたまま寝ると、ふとんなどに接触して火災となる恐れがあります。

●近くでスプレー缶を使用するのはやめましょう！

近くでスプレー缶を使用すると、スプレー缶の可燃性ガスがストーブの炎に引火して火災になる恐れがあります。

また、近くにスプレー缶を置いておくと、ストーブの熱でスプレー缶が熱せられて、缶が破裂し、火災となる恐れがあります。



●近くに燃えやすいものを置かないようにしましょう！

ストーブは壁やカーテンなどから離して置き、雑誌や新聞紙などの燃えやすいものを近くに置かないようにしましょう。ストーブに接触したりすると、火災になる恐れがあります。



●給油するときは、必ずスイッチを消しましょう！



# 津波からの避難について

**11月5日は「津波防災の日」**です。東日本大震災をはじめとするこれまでに受けた津波被害の教訓を忘れず、日頃から津波対策についての理解と関心を深めるため、平成23年6月に制定されたものです。海辺にいる時に地震があった場合、屋外スピーカー放送や津波警報サイレンなどをよく聞き、素早く、適切な行動をとり、直ちに安全な場所へ避難しましょう。

## 津波への対応方法

### ★海の近くで地震にあったら、とにかく避難しましょう

○揺れていなくても津波警報を聞いたら素早く避難しましょう。

○より遠くではなく、より高いところへ避難しましょう。

○建物に避難する場合は、鉄筋コンクリートなど頑丈な建物の3階以上に避難しましょう。

○津波は二度、三度と押し寄せる可能性があるので、警報が解除されるまで海岸に近づかないようにしましょう。

○川をさかのぼって内陸にも到達する可能性があります。



横浜市の津波避難対策について

詳しくはこちらから↓

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/kikikanri/keikaku/tsunami/>  
(横浜市消防局ホームページ内)

# 秋の火災予防運動を実施

秋の火災予防運動 実施中 11月9日～11月15日

消すまでは  
出ない行かない  
離れない



金沢消防署 金沢消防団 金沢火災予防協会

秋の火災予防運動は、火災が発生しやすい冬を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及啓発を図り、市民のみなさまにご家庭や職場で火災に対する備えをしていただくことで、火災と火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐことを目的として実施します。

実施期間

平成24年11月9日（金）～11月15日（木）

平成24年度全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

# 火の用心通信 (2012年11月) No.15

横浜市金沢消防署

## インフルエンザに注意しましょう

日本では、季節性インフルエンザが例年12月～3月頃に流行します。  
インフルエンザの感染力は非常に強く、日本では毎年約1000万人、約10人に1人が感染しています。

### インフルエンザにかからないようにするには

#### ① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、かかった場合の重症化防止に有効と報告されており、年々ワクチン接種をする方が増加しています。



#### ② 外出後の手洗い等

手洗いは手指など体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず感染予防の基本です。また、外出後の手洗い、うがいは一般的な感染症の予防のためにもおすすめします。



#### ③ 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。

#### ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。



#### ⑤ 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢の方や基礎疾患のある方、疲労気味、睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出をして人混みに入る可能性がある場合には、ある程度の飛沫等を防ぐことができる※不織布(ふしょくふ)製マスクを着用することはひとつの防御策と考えられます。ただし、人混みに入る時間は極力短

※不織布製マスクとは

不織布とは「織っていない布」という意味です。繊維あるいは糸等を織ったりせず、熱や化学的な作用によって接着させて布にしたもので、さまざまな用途で用いられています。市販されている家庭用マスクの約97%が不織布製マスクです。

# 年末年始消防特別警備の実施

平成24年12月20日（木）～平成25年1月4日（金）

金沢消防署・金沢消防団では年末年始における区民の安全・安心を守るため、消防車両等による広報・巡回警戒などを行います。

## 新春恒例 平成25年金沢区消防出初式



一斉放水の様子

☆区民の皆さまのお越しをお待ちしております。



日時：平成25年1月7日（月）  
午前9時30分～午前10時30分

場所：金沢公会堂及び泥亀公園

内容：第一部  
式典・表彰（金沢公会堂）  
第二部  
消防演技・一斉放水（泥亀公園）

付いてますか??

## 住宅用火災警報器

### 作動点検をしましょう!!

・次の場合には作動テストを行ってください。  
※「引きひも」又は「警報停止(テスト)ボタン」で行います。

- 1 初めて取り付けたとき
- 2 清掃等の手入れを行ったとき
- 3 電池交換を行ったとき
- 4 取り付け場所を変更したとき
- 5 故障・電池切れが疑われるとき
- 6 3日以上、留守にしたとき



※ 異常がある場合は、お買い上げの販売店またはメーカーのお客室相談室等に相談してください。

※ 作業点検時に脚立・イスなどを使用するときは、転落に注意して安全に行ってください。

### 燻煙式の殺虫剤による発報に注意しましょう!!

・害虫駆除するときは、予め住宅用火災警報器本体に煙が入らないように、ビニール袋、ラップなどで覆いをしておきます。駆除後は、必ず覆いを取り元に戻しておいてください。また、管理人や御近所にも知らせるほか、玄関先のドアに「害虫駆除実施中〇〇時から」など張り紙をしておいてください。



# 火の用心通信 (2013年1月) No.16

横浜市金沢消防署

## 気道異物による窒息に注意しましょう

気道異物による窒息とは、たとえば食事中に食べ物が気道につまるなどで息ができなくなった状態です。

特に、飲み込む力の弱った高齢者などや、歯が未発達な乳幼児に発生しやすく、また、年末年始の時期になると、お餅をのどにつまらせてしまったという救急要請も多くなります。まずは、窒息による事故が起きないように、予防することが大切です。

### 【窒息が発生する主な原因】

- 食事中に食べ物がのどに詰まる（餅、パン、あめ玉、ゼリー等）
- 胃の内容物やその他の物体のごえん  
※ごえんとは、食べ物や異物を気管内に飲み込んでしまうこと
- 口の中の乾燥（加齢による唾液の減少）



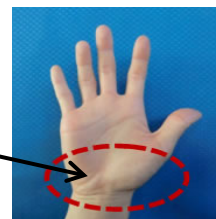
### 【窒息の予防法】

- 食べ物は、小さく切って、少しずつゆっくり食べる。
- ニンジンなど固い野菜は、細かく切る、隠し包丁を入れる、柔らかく煮るなどの手を加える。
- 食べることを無理強いしない。
- 歩きながら、遊びながら物を食べない。
- 食べている最中に話しかけない。
- 完全に目が覚めてから食事を始める。
- 口腔ケア（口に体操やマッサージ、唾液分泌、入れ歯の手入れ等）を行いましょう。

### 【窒息の処置方法】

- 傷病者の後ろから、手のひらの基部で、左右の肩甲骨の中間あたりを力強く何度も連続してたたきます。これを背部叩打法といいます。

手のひらの基部



座らせた状態



横向きの状態



立った状態



# みんなで守ろう文化財

平成25年1月26日は第59回文化財防火デーです。

金沢区には称名寺を含む17の寺院等に文化財が収蔵されています。貴重な文化遺産を後世に伝えるため、金沢消防署・消防団では地域と連携して消防訓練等を行います。

## 金沢区で行われる主な消防訓練予定

日時：平成25年1月25日（金）

午後2時30分～3時00分

場所：旧伊藤博文邸（金沢区野島町24）

日時：平成25年1月26日（土）

午前9時30分～10時00分

場所：称名寺（金沢区金沢町212-1）



称名寺での訓練風景



旧伊藤博文邸での訓練風景

## 春の火災予防運動を実施

春の火災予防運動 実施中 3月1日～3月7日



**消すまでは  
出ない行かない  
離れない**



金沢消防署 金沢消防団 金沢火災予防協会

春の火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎え、火災予防意識の一層の普及啓発を図り、市民の皆さまの自らの行動を促し、火災及び火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐことを目的として実施しています。

実施期間

平成25年3月1日（金）～3月7日（木）

春の火災予防運動の一環として、駅頭広報キャンペーンを行います！

日時：平成25年2月28日（木）

午後6時00分～6時30分

場所：京急「金沢文庫駅」・「金沢八景駅」の2か所

# 火の用心通信 (2013年2月) No.17

横浜市金沢消防署

## 住宅火災から命を守るために！

本年に入り、市内で住宅火災による死者が7人発生（1月31日現在）し、その全ての方が65歳以上の高齢者です。金沢区内の皆様も、これまで以上に火の元にご注意くださいますようお願いいたします。

また、就寝時間帯に多く発生しているのも特徴です。お休み前にもう一度火の元の確認をお願いいたします。

### 【住宅防火のポイント】

#### こんろ対策



調理中は、その場を離れない



調理中は、衣服に火がつかないように注意する



こんろや換気扇は、こまめに掃除をする



傷んだり古くなったガスホースは早めに取り替える



こんろの周りに燃えやすい物を置かないで、いつも整理整頓を心掛ける

調理中に、鍋に火をかけたままその場を離れてしまい発生するケースが大半です。調理中はその場を離れないとともに、衣服への着火にも注意しましょう。

#### たばこ対策



灰皿に吸い殻をためない



灰皿には、水を入れておく



灰皿は、フチの広いものを使う



吸い殻をゴミ箱に捨てない



寝たばこは、絶対にしない

たばこによる火災の多くは喫煙中に寝てしまったり、吸い殻の不始末などの不注意によるものです。特に飲酒後の寝たばこは大変危険ですのでやめましょう。



## ローソク、線香対策



ガラスや防災製品を使用する



火をつけたまま、その場を離れない



土台は安定したものにする



電球タイプのものを使用する

仏壇や神棚などに供えたローソクや線香が、転倒などにより周りの燃えやすい物へ燃え移るなどを原因として発生しています。整理整頓をするとともに、火をつけたままその場を離れないようにしましょう。

## ストーブ、暖房器具対策



必ず火を消してから給油する



外出や就寝前には、必ず火を消す



ストーブに近づきすぎない



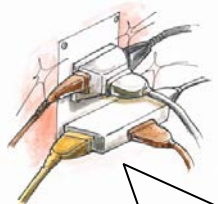
ストーブの近くにスプレー缶等を置かないようにする、また、近くで使用しない



ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

ストーブや暖房器具の周りに置かれた燃えやすい物に着火したり、ストーブを使用中に給油したことなどを原因として発生しています。ストーブ等で洗濯物を乾かすのはやめましょう。

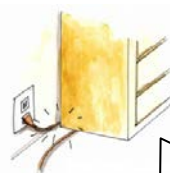
## 電気コード、コンセント対策



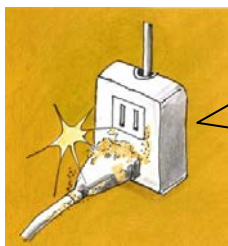
たこ足配線はしない



劣化や破損したコード、プラグは使用しない



電気コードは、カーペットや家具などの下敷きにしない



プラグは、ずっと差し込んだままにせず、時々掃除する



プラグは、しっかりと差し込みましょう

たこ足配線やプラグを差し込んだままのコンセントにホコリが付着するなどを原因として発生しています。

古い電気コードや傷ついたものは使用せず、こまめな清掃を心掛けましょう。

# 火の用心通信 (2013年3月) No.18

横浜市金沢消防署

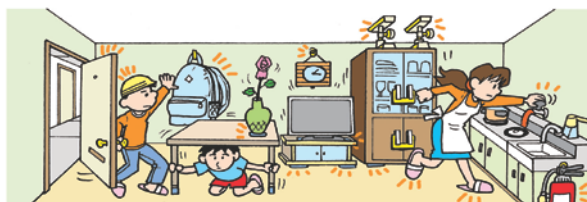
## 減災行動のススメ

東北・関東地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から二年が経過しました。金沢区でも震災に対する意識の改善や防災訓練が行われていますが、震災対策の意識が薄れないように今一度「減災行動」について考えてみましょう。

### 減災行動しないと・・・



### 減災行動していると・・・



減災行動とは、災害による被害をできるだけ小さくするための取組です。

## ①地震が起きる前

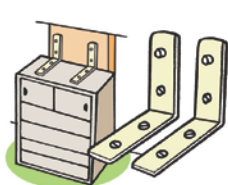
～できることから今すぐに～

1 家族が落ち着いて行動できるように、地震について話し合い、対応方法を決めておきましょう。

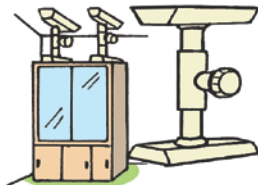
- ◆家族との連絡方法を確認する
- ◆家族の役割分担を決めておく
- ◆家や地域の危険箇所を確認する
- ◆最寄りの避難場所を確認する



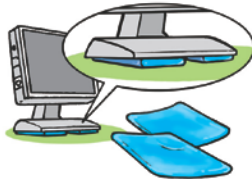
2 家具の転倒防止について考えましょう。



金具による固定



ポール式器具による固



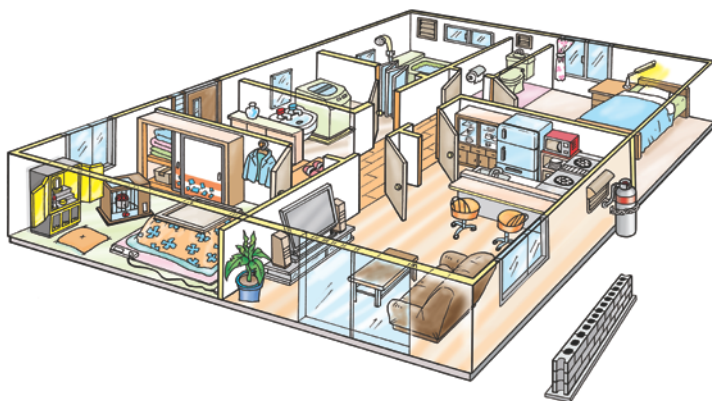
粘着マット



ガラス飛散防止フィルム

3 家の危険箇所をチェックしましょう。

- ◆玄関、廊下には物を置かず、避難口を確保する。
- ◆台所にある食器棚、冷蔵庫や電子レンジを固定する。
- ◆仏壇のロウソクが倒れないように固定する。
- ◆寝室には極力家具を置かない。
- ◆ガラス戸には飛散防止フィルムを貼る。
- ◆屋根、アンテナを補強する。



## ②地震が起きた時

～その場にあった身の安全～

### 1 家の中にいたら？

- ◆落下物から身を守る
- ◆外に飛び出さない
- ◆出口を確保する



### 2 外にいたら？

- ◆落下物、倒壊物から身を守る
- ◆地割れや陥没した場所には近づかない



### 3 運転中だったら？

- ◆ゆっくり止まる
- ◆車での避難は行わない
- ◆鍵はかけずに避難する



### 4 エレベーターの中にいたら？

- ◆すべての階のボタンを押す
- ◆落ち着いて救助を待つ



### 5 乗り物の中にいたら？

- ◆急ブレーキに備える
- ◆乗務員の指示に従う



### 6 海にいたら？

- ◆より早く、より高い所へ避難する



## ③地震が起きた後

～時と場所にあった正しい状況判断～

### 1 火の元確認、初期消火

- ◆揺れがおさまったら、あわてずに火の始末
- ◆出火したら、火が小さいうちに消火する



### 2 正しい情報

- ◆ラジオ等で正確な情報を入手する
- ◆自治体が提供する情報を入手する
- ◆災害用伝言ダイヤル171を利用する



### 3 協力しあって救出・救護

- ◆隣近所で協力し、閉じ込められた人を救出、救護する
- ◆72時間以内の救出が生死を分ける壁



### 4 確かな避難

- ◆非常持出品を携行して避難する
- ◆ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難する
- ◆家屋の倒壊等で自宅に戻れないときは地域防災拠点に避難する



詳しくは横浜市消防局ホームページをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/pamphlet/pamphlet.html#gensai>